

銀座の屋上で養蜂をしている。目標としている。シーザンも酷暑が続く2トンの収穫も間近である。この数年、コロナ禍で季節になれば花が咲いてミツバチ達は一懸命蜜や花粉を集めてくる。繁華街の真ん中でも命の営みは続いている。

一方で銀座から広がったミツバチプロジェクトは現在100カ所以上広がったと言われている。以前から縁があったアロジエクト仲間でオンライン会議を始めたが、気が知れた

各リーダーに声をかけ、そろそろ全国のミツバチプロジェクトをまとめる団体でも作ろうか?と尋ねたら、もつと早くいつて欲しかった!今すぐ銀座に集まるから日時を指定して!等など驚くような好意的な反応をもらつた。

現在その準備に入っている。それぞれは小さくて弱い存在でも、纏まると強くなる。何よりも地域の課題に向き合って自ら行動しているプレーヤー達だ。大手企業などは銀座ただけコラボするだけではなく、ネットワークを活かして一気に全国の

防衛大学校は、横須賀にある自衛隊幹部になる候補生たちの学校である。本年4月現在で約1780名の学生、内210名が女子学生。また11カ国から114名の留学生が来ているそうだ。

この学生たちは全員寮に住み、4年間の集団生活の中で上級生は下級生を指導し、訓練を通して指導力を築いていく。私も教官としてまた校長として学生を見る立場にあつた。1年生は4年間の防大生活を通して精神的および肉体的に大きな成長を遂げる。これを見ていて本当にほ

防衛大学校は、横須賀にある自衛隊幹部になる候補生たちの学校である。本年4月現在で約1780名の学生、内210名が女子学生。また11カ国から114名の留学生が来ているそうだ。

この学生たちは全員寮に住み、4年間の集団生活の中で上級生は下級生を指導し、訓練を通して指導力を築いていく。私も教官としてまた校長として学生を見る立場にあつた。1年生は4年間の防大生活を通して精神的および肉体的に大きな成長を遂げる。これを見ていて本当にほ



防大生の心意気、涙と爆笑

——西原 正

えまい。一般の大学生と同じ量の勉強、宿題などが要求される上に、初步的な軍事訓練や体力増進訓練をこなさなければならない。そのためスケジュールの詰まった毎日で、素早く行動から行動に移すのが常道になる。

この話は、朝6時(冬は6時半)に起床ラップとともに起き、ベッドを整頓して5分後には学生舍前の広場に集合する。8キロを約5時間かけてゆっくり泳ぐ

ところ。その後は、朝8時ごろに出発する。8キロを約5時間かけてゆっくり泳ぐ

ところ。その後は、朝8時ごろに出発する。8キロを約5時間かけてゆっくり泳ぐ</p